

1 2 月 度 常 議 員 会 議 事 録

日本建築学会近畿支部

期 日：平成21年12月25日（金） 14：00～16：00

会 場：支部会議室Ⅱ（閲覧・会議室）

出席者 森本支部長

常 議 員 神 澤、小 坂、田 村、吉 澤、吉 田

笹 村、服 部、藤 井、藤 田、藤 谷、村 上

支部監事 上 田、渡 辺

事 務 局 児 玉

【審議事項】

（1）前回議事録（案）確認の件

- 事務局より役員各位へ事前に送付された議事録(案)の内容は、確認のうえ承認された。

（2）理事会報告の件

- 支部長より12月22日(火)に開催された理事会について報告が行われた。
主な報告としては、「終身正会員待遇について」、「2010年度日本建築学会大会（北陸）の参加費について」、「2011年度大会開催担当支部について」、「UIA2011東京大会への協力体制について」、「『建築雑誌』1月号について」、「新法人制度対応委員会中間報告」などであった。

（3）12月度本部学術推進委員会報告

- 12月11日(金)に開催された本部学術推進委員会の報告については、代理出席をした小坂常議員より記録メモを用いて報告が行われた。
主な報告としては、「2009年度大会（東北）概要報告」、「2010年度技術部門設計競技応募要領」、「第49回（2010年度）竹中育英会建築研究助成候補募集」、「2010年度国際交流振興基金援助事業申請について」、「情報保障に関する申請受付」、「日本学会議報告」、「梗概の取り消し申請」、「2010年度大会関係」、「2008～2009年度委員会活動報告会の日程」、「委託研究への応募」などであった。

（4）支部報告 1. 事業報告

2. 会計報告

- 事務局より報告があり、承認された。

(5) 平成22年度事業計画の件

- 事業計画(案)の内容に関する説明が事務局からあり、原案を承認することとした。

(6) 平成22年度収支予算の件

- 今年度から実施された公益法人会計の見直しに伴い、事前に本部財務部と調整した内容も含め全体についての説明が事務局からあり、原案を承認することとした。

(7) 平成22年度各部会費決定の件

- 小坂学術常務幹事より、常議員会の前に開催された研究委員会にて、来年度の各研究部会予算を審議した結果の報告があり、各研究部会の予算案は承認された。
- 各部会予算を審議する前に、来年度の研究発表報告原稿募集は電子投稿となり、それに伴う変更事項などについて説明されたことが報告された。

(8) 常置研究部会の英文名称について

- 本部組織の英文名称について確認を行った。
- 本部においても、英文による各研究員会名称を正式に決めていないため、要望のあった常置研究部会に対しては、英文による本部組織図および研究委員会一覧のデータを送り、適宜決めてもらうこととした。

(9) 当支部研究発表会に関するホームページの内容について

- 事務局から各役員へ事前に通知された、研究発表原稿募集に関するホームページの掲載内容について審議された。
- 席上にて指摘のあった内容については、速やかに修正することとした。
- 報告集をA4版にしてはとの提案があった件に関しては、事務局と印刷業者と相談することとした。

(10) 来年度に実施される本会会長支部訪問の日程について

- 各役員の都合などを考慮して審議した結果、第1候補日を4月27日(火)とし第2候補日を4月20日(火)として本部に通知することとした。

(11) 委託調査研究依頼の件

- 下記の調査研究依頼については受託することが承認された。

○建築物の凹凸による外装材設計用風荷重の低減効果に関する研究

- 委託者 (株)長谷工コーポレーション、(株)長谷工設計
- 担当者 谷池 義人 君 (大阪市立大学教授)
- 期間 契約日 ~ 平成22年3月31日
- 研究費 2,500,000円

(12) その他

- ① 当支部研究委員会での支部事業の立案に関する提案について
- 吉澤事業常務幹事より常議員会の前に開催された研究委員会にて、前回の常議員会で提案することについて承認を得た、支部事業立案に当たっては各研究部会の専門系分野を代表して研究委員会委員に就任される部会から企画案を提出していただく件について説明があった。
 - 研究委員会にて議論された結果、支部事業へ協力することについては了解が得られた。

【報告事項】

- (1) 「アーキニアリング・デザイン展」 in京都展の終了報告
- 事務局より、9月28日(月)～10月12日(月)まで京都工芸繊維大学美術工芸資料館で開催された、展覧会および併設行事に関する終了報告があった。
- (2) 「阪神・淡路大震災15周年フォーラム」(1月18日 開催)の開催案内
- 藤谷常議員より、チラシを用いてフォーラムの概要が説明された。
 - 当支部の共催行事でもあることから、各役員の所属先において周知の協力と参加動員をお願いした。
- (3) 本部司法支援建築会議からの報告(鈴木計夫支部代表委員一懇親場所にて)
- 鈴木計夫氏(大阪大学名誉教授)から、本部司法支援建築会議の活動状況についての報告があった。

以 上